

【法学部】

試験実施方式：学校推薦型選抜

◆求める人物像

現在の社会では、従来の認識枠組みでは十分に検討できない多様な課題が発生し、一国家だけでは対応できない課題が進行しています。こうした課題に対応するには、社会の多様性を反映した様々なバックグラウンドを持つ学生が必要だと考えています。解決すべき課題を様々な事象から言語化する能力を持ち、国境の壁、言語の壁、ジェンダーの壁にとらわれることなく、様々な見解・価値観を持つ他者との対話・協働を通じて、広い視野から国家や社会のあり方を深く考え、法政策の提言や実践によって課題解決に取り組もうとする生徒の受験を望んでいます。

そこで、次のような資質のある人材を広く全国から求めています。

- ・グローバルな視野から国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有し、かつ、グローバルに活躍するにあたって必須となる英語の基本的な四技能をバランスよく身につけていること
- ・人々が協働し、共に生きる社会の実現を志す倫理性と責任感を持ち、未だ答えのない課題等を自ら見だし、文献や資料等を調査して、徹底して考え抜こうとする自学自習の姿勢を有していること

◆募集人員

20人

◆選抜日程

出願期間	令和6年11月1日(金)午前10時～11月8日(金)午後5時(必着)
第1次選考結果発表日	令和6年11月28日(木)発送
第2次選考実施日	令和6年12月14日(土)
第2次選考結果発表日	令和7年1月10日(金)正午
最終合格発表	令和7年2月12日(水)正午
入学手続	令和7年2月19日(水)午後5時(必着)

◆出願資格

次のいずれかに該当すること。

1. 高等学校又は中等教育学校を令和5年4月から令和7年3月までに卒業又は卒業見込みの者
2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和7年3月までに修了又は修了見込みの者

◆推薦要件

次のすべての要件を満たすこと。

1. 人格・見識ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者
2. 学業成績に秀でており、国家・社会に関する事象に強い関心を持ち、このような事象を本質から理解しようとする知的探究心を有すること。自らの考えを言語化し、異なる文化的・社会的背景や価値観を有する他者との対話・コミュニケーションを遂行するために必要な基礎的かつ十分な日本語・外国語における言語遂行能力を修得していること
3. TOEFL iBTのOfficial Score Reports又はTest Taker Score Report、IELTS(アカデミック・モジュール)、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本、または実用英語

- 検定（英検）の合格証明書の原本のうち少なくとも1つを提出できる者
4. 令和7年度大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目を受験する者
5. 本学法学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者

◆推薦人員

各学校長が推薦できる人数は、2人まで（ただし、男性は1人まで）とします。

◆提出書類

1. 調査書	文部科学省で定めた様式により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
2. 推薦書	所定様式により高等学校等が作成したもの。 （「学業成績に秀でていること」に該当する理由を記載してください。志願者が在学中に行った活動・研究のうち、推薦要件2. に照らして、特筆すべきものの内容について、その理由とともに説明してください。）
3. 学びの設計書	所定様式（法学部用）により志願者本人が作成したもの（法学部のアドミッション・ポリシーならびに、法学部が特色入試で求める人物像を読み、あなたが法学部で学びたいことや、卒業後の進路などについて、自由に述べてください。）
4. 推薦要件2. を満たすことを具体的に証明する資料	例えば、下記のもの。ただし、これに限定されない。 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等での課題研究の実績や執筆した論文 ・留学経験を証明する書類、外国人との交流や支援活動を行ったことを示す第三者の推薦状 ・特記すべき社会貢献活動や課外活動の内容を証明する書類
5. TOEFL iBT の Official Score Reports または Test Taker Score Report、IELTS（アカデミック・モジュール）、TOEIC Listening & Reading Test の受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ	

※各種様式及び「推薦書作成の手引き」が、京都大学特色入試 Web サイト

（<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/tokusyoku/>）からダウンロードできます。

※出願書類については、67ページ以降の「8. 出願手続」を確認のこと。

◆大学入学共通テスト利用教科・科目名

【国語】『国語』
【地歴・公民】『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から2 ※1 （『歴史総合、世界史探究』、『歴史総合、日本史探究』のうち少なくとも1科目を選択すること。）
【数学】『数学Ⅰ、数学A』及び『数学Ⅱ、数学B、数学C』
【理科】『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』の出題範囲である「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2つを選択解答すること。 ※2
【外国語】『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 ※3
【情報】『情報Ⅰ』 ※4

- ※1 大学入学共通テストの「地理歴史及び公民」の試験時間において2科目を受験する場合、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
- ※2 大学入学共通テストの理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（以下、「基礎を付した科目」という。）は4つの出題範囲から2つを選択してください。また、「基礎を付した科目」を選択するかわりに、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目を選択することができます。その場合は、合計得点（200点満点）を「基礎を付した科目」の合計得点と同じ100点満点に換算します。なお、「理科」について、「基礎を付した科目」を選択する場合は、第1解答科目として解答してください。
- ※3 『英語』を利用する場合は、リスニングテストを含みます。『英語』はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点の合計200点満点に換算して利用します。リスニングを欠席した場合は、リスニングの得点を0点として取り扱います。リスニング免除者はリーディング100点満点を200点満点に換算して利用します。
- ※4 100点満点を50点満点に換算して利用します。

◆選抜方法及び基準

提出書類、大学入学共通テスト、及び小論文の成績を総合して合格者を決定します。

第1次選考は、提出書類により選考を行います。

第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。

小論文試験では、英語の文章を題材に、日本語で解答する小論文を課し、読解力、論理的思考力、日本語による表現力などについて評価します。

小論文試験の配点は、次のとおりとします。

試験の区分	小論文	合計
配点	100	100

最終合格者は、第2次選考に合格した者で、大学入学共通テストの合計得点が950点満点中概ね80%以上の者を合格者とします。

大学入学共通テストの配点は、次のとおりとします。数字は満点を表します。

試験の区分	大学入学共通テスト						合計
	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	情報	
配点	200	200	200	100	200	50	950

◆第2次選考実施期日・場所

日程	内容	時間	場所
令和6年12月14日（土）	小論文	14時00分～16時00分	京都大学法学部

※場所及び集合時間等の詳細については、第1次選考結果発表・受験票送付（72ページ）の際にお知らせします。

◆大学入学共通テスト成績請求票貼付用台紙の提出

第1次選考合格者には、受験票とともに「受験票の送付について」を送付しますので、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した台紙に大学入試センターから交付を受けた有効な「令和7共通テスト成績請求票」を貼り付け、京都大学特色入試 Web サイトから印刷した宛名ラベルを貼り付けた市販の封筒に入れて、指定する日までに法学部教務掛へ提出してください（詳細は73ページ参照）。